

む ずかしいことも、
む き合う、
む くぎ太一。



新聞 特別号 Vol.16



広島市議会議員
むくぎ 太一

「人間は社会的動物である」という言葉があります。古代ギリシャの哲学者・アリストテレスによるものです。人は、集団で暮らす生き物であり、社会との結びつきを実感することができると考えます。普段意識しませんが、地域

町内会・自治会をはじめとする地域コミュニティは近年、加入率の低下や役員の高齢化・なり手不足など様々な課題が顕在化しています。都市化によって人間関係が希薄になったことに加え、地域コミュニティの必要性・重要性に焦点が当たらなかつたことが背景にあるとみています。相次ぐ大規模災害により、地域コミュニティの価値が再評価されてきてはいますが、まだまだ物足りなく感じています。

住みよい街づくりは、地域コミュニティの再生・活性化が生命線となる

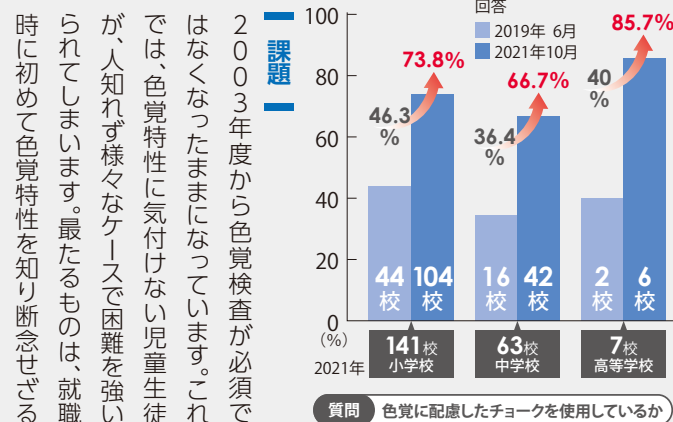


元新聞記者の視点で地域の課題をピックアップします



の祭りや運動会といった行事や仲間との会合、ご近所さんとのあいさつなどは、大げさですが、「社会性の露」ともいえるでしょう。しかし、「コロナ禍」により行動が制限されたイベントが中止になったりして、人間の社会性が発揮できない状態が続いています。他愛のない会話ですら避けるような場面も散見され、人と人との結びつきが断たれかねない危うさを危惧しています。このように、

社会構造が激しく揺らいでいる時代だからこそ、安全・安心で住みよい街づくりをするためには、まずは、人と人との結びつきを回復させることが急務です。それも、ただ単に「1(人)+1(人)≠2(人)」ではなく、「1(人)+1(人)」が、自己肯定感や存在意義の認識といった価値を加味して、「3」にも「4」にもなるよう、地域コミュニティを立て直す必要があります。現在、広島市は「地域コミュニティ活性化ビジョン」(2022年2月作成)に基づき、再生・活性化に取り組んでいます。今年度から各地で住民の皆様との意見交換会などを実施し(画像参照、地域にあった策をとるに考えています。ただ、地域コミュニティの再生・活性化に近道はございません。地域と行政が思いや課題・悩みを共有することが求められます。街づくりの成否は、地域コミュニティの再生・活性化が生命線です。息の長い仕事になります。引き続きご理解いただけたらと思います。



色覚特性を持つ人は、男性が20人に1人、女性は500人に1人、また女性の10人に1人が保因者とされています。広島市立学校におけるカラーバリアフリーの取り組みとして、色弱者も識別しやすいチョークの導入促進を提案しました。19年と比較すると大幅に前進しました。

4 カラーバリアフリーの促進

〜2019年一般質問〜

を得なくなることで、早く色覚特性を知っていれば、別の道を選択できたはずなのに、そのチャンスを奪われてしまうのです。検査に近い形で色覚特性を知る機会を作っていく必要性があります。

ハザードマップのカラーバリアフリー化の促進

「ハザードマップ」は、各自治体などが発行し、その多くは、危険性を色の濃淡で表現しています。色弱者は色の差異に加え、濃淡の識別も苦手にするケースが多いといえます。色合いだけでなく、凡例や表記などにも工夫するなど、より識別しやすい一歩進んだカラーバリアフリー化を提案しました。

浸水のハザードマップでは、地図上に危険度を文字で表記することで識別性を向上させました。また、土砂災害のハザードマップでは、過剰な情報を取捨選択し、視認性を高めました。

色覚特性は多種多様です。最大限に効果を発揮できるハザードマップを作るには、カラーバリアフリーへの興味関心をより一層抱いてもらうことが欠かせません。

5 その他

平和記念式典関係

〜2020年予算特別委員会質疑、政策立案検討会議での協議〜

平和記念式典挙行中のデモ団体による騒音は10年来的の問題となっています。被爆3世としても、解決しなければいけないこととして、初当選以来、この問題に向き合ってきました。

「結果」デモ騒音は広島市だけの問題ではありません。市議会でも質疑するだけでなく、ネットニュースやブログなども通じ、全国的に問題提起を行ってきました。徐々に認知されてきたのではないかと思います。また、政策立案検討会議メンバーとして「広島市平和推進基本条例」の素案作りに携わり、2021年6月の条例成立にこぎつけました。



元安川に掲げられた横断幕

「平和推進基本条例」が施行されて以降もデモ騒音は問題として残っています。多くの人にこの問題を知っていただき、1年でも早い解決を迎えなければなりません。

むくぎ 太一事務所

祇園事務所 〒731-0138 広島市安佐南区祇園1-4-5
川内事務所 〒731-0102 広島市安佐南区川内5-31-7

TEL (082) 846-5450
FAX (082) 846-5451



【公式 HP】



【Facebook】



【Instagram】



【Twitter】

プロフィール

棕木 太一(むくぎ たいち)

1975年7月28日生まれ 広島市安佐南区出身
広島市立川内小学校、広島市立城南中学校、
広島県立安古市高校、早稲田大学政治経済学部 卒業
元読売新聞記者 自由民主党安佐南支部長
市議会総務副委員長

私は、5つの政策を柱としています。広島市議会議員としての任期が残りわずかとなりました。これまでの取り組みと今後の課題を5つの政策に関してまとめました。

5つの政策

1. 子育て支援・人材育成
2. 道路などのインフラ整備を推進
3. 防災・減災
4. 「カラーバリアフリー」の推進
5. 広島市政改革・メディア戦略

1 子育て支援・人材育成

＜子育て支援＞

妊娠包括支援

～2020、21年予算特別委員会質疑～

「産前・産後サポート」「産後ケア」「産後ヘルパー派遣」の妊娠包括支援に関する3事業について、利用対象者(母親が「産後8週(2か月)」までで他の政令市に比べても期間が短く利用しづらいことから、子育て環境改善のため、対象期間延長を提案しました。

結果

「産前・産後サポート」が産後1年以内、「産後ケア」は産後4か月までに延長されました。産褥期に感じる心身の負担を少しでも軽減でき、児童虐待や産後うつ抑制につながればと思います。

課題

妊娠包括支援の3事業の啓発・周知を徹底していくことです。出産は、その後

2 道路などのインフラ整備

都市計画道路関係

「西原山本線」

～2021年決算特別委員会質疑～

JR下祇園駅北側の「祇園踏切」から国道183号の「西原5丁目(南)交差点」まで、東西約400メートルをつなぐ区間の整備について質疑しました。この西原山本線の一部として計画決定をしていますが、数十年間、未着手の状態となっています。JR下祇園駅の再整備に併せて、祇園踏切以西を26年度までに大幅完了させます(アフセス線)。つまり、西原山本線は、長束八木線と交わる「祇園4丁目交差点」以東は、この約400メートルを残して完成することになります。幹線道路としての効果や機能を最大限に高めるためには、未着手区間の早期完成が求められるのです。



赤線が長束八木線で、青線が西原山本線／広島市計画総括図より抜粋

結果

21年決算特別委員会、広島市から「アフセス」線の整備に引き続き整備に取り

のケアなども含めて、一連の流れであることを家族や周囲の人々にも知っていたり、必要があります。利用を促すには周囲の理解が不可欠です。今後、産後ケアなどの啓発や体験促進に関する施策を提案していきたいと思っています。

大規模小学校の過密化防止・適正化対策

～2019年決算特別委員会質疑～

児童数1000人超の大規模小学校の過密化を抑え、適正規模にする対策の一環として、隣接小学校での受け入れを柔軟にするよう提案しました。

結果

居住地の小学校から別の小学校に入学するための変更許可基準に、「隣接校に入学したい」という項目が新設されました。祇園、山本、春日野、川内、伴、井口の6校が大規模校に指定され、21年度の新入生から新基準が適用されました。

指定小学校	入学できる小学校
祇園・山本 春日野	三篠・己斐・古市・大町 安・安西・長束・原・伴東 大塚
川内	緑井・中筋・古市・梅林 口田東・口田
伴	安北・安西・伴東・大塚 伴南・石内・藤の木
井口	鈴が峰・井口明神 井口台・五日市東 五日市南

小学校の表記は省略

組む旨の答弁を引き出しました。そして、2022年度、広島市の公式文書に初めて、この区間の「整備」という記載がなされました。

課題

「開かずの扉」が、数十年の時を経て、ようやく動き出したわけですが、完成までには時間を要することは否めません。西原山本線の効果を高めるには、一日も早い開通が望まれます。最重要課題の一つに位置付け、働きかけていきます。

JR下祇園駅再整備関係

地元の皆様の長年のご努力もあり、下祇園駅の再整備が日を追うことに進んでいます。23年度末(24年春)までには、下祇園駅の新駅舎と自由通路の利用が始まります。また、25年度半ばには、西口駅前広場の利用開始も予定されています。数年先には、景色が一変し、多くの人でにぎわうことでしょう。こうした大事業は、地元や駅利用者の皆様の理解と協力なしには成し遂げられません。ホームや駅舎の工事が始まった20年夏頃から、五月雨式に工事や事業内容などに関する問い合わせが増えてきました。主な事業者である広島市とJR西日本と住民・利用者とのくさびとなり、「コミュニケーション」の円滑化に努めてきました。

通学路対策

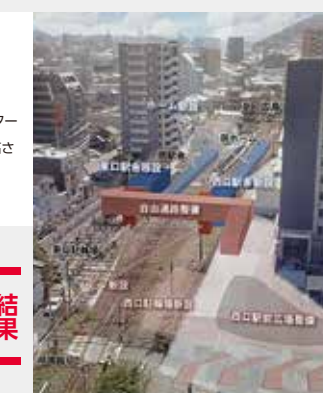
安佐南区は狭く細い道路が多く通学路対策は欠かせません。広島市は地域住民・団体や警察などと協力し、通学路の安全性向上に努めてきました。

学区	状況	対策
祇園小学校区 祇園3丁目12番付近	道幅が狭く交通量が多い。道路の片側だけ路側帯があるが、一部の電柱が路側帯を塞ぎ、通行の妨げになっている	登下校時の安全指導、見守り活動
大町小学校区 大町3丁目17の県道押しボタン式交差点	アストラムラインを走る県道の点滅信号交差点で車が速度を落とさず走る。数年前に青信号で横断中の児童が車と接触する事故が発生している	植え込みを剪定し、運転手の視界を良くする。点滅信号の調整で安全性を高めたい
長束小学校区 長束5丁目の新芦田屋橋付近	新芦田川沿いの狭い道路で植え込みもある	「減速」と路面標示を加えた
長束西小学校区 長束西1丁目「長束西第一公園」前	道路がカーブして視界が悪い。通学時は車やバイク、自転車が速度を上げて降りてくる	横断歩道があることを示す「強調マーク」を路面標示した
原南小学校区 西原1丁目の武田山入口交差点付近	信号機のない横断歩道と曲がり角が近接し、歩行者と車が接触する危険性が高い	横断歩道手前に「学童注意」を路面標示した
古市小学校区 古市1丁目の旧道	通学のため、やむなく横断歩道のない県道を渡っていた	通学路を変更
毘沙門台小学校区 毘沙門台2丁目のメイン道路	毘沙門台団地のメイン通りで多くの車が高速で走る。スーパー前やガソリンスタンド前で子供と車の事故が発生している	登下校時の安全指導を徹底
川内小学校区 川内小学校正門前から川内1丁目間	地域の主要道路だが、道幅が狭く、路側帯やガードレール等がない部分も多い。用水路が並行し落水の危険性がある	正門側に路側帯を新設・拡幅。規制標識も設置
東野小学校区 東原3丁目3番から12番の市道	幹線道路の抜け道で車が速度を上げて走るが幅が狭い	横断歩道があることを示す「強調マーク」を路面標示予定
中筋小学校区 中筋1丁目の安佐南区図書館付近の交差点	幹線道路の抜け道で通行量が多い。信号機がない交差点の曲がり角に植え込みがあり視界が悪い	登下校時の安全指導を徹底

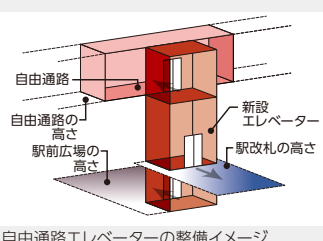
【通学路対策の一例】

課題

広島市は2年間かけて通学路の点検、安全指導、歩道の設置・改善などを行ってきましたが、交通マナーなどソフト面の政策も注力する必要があります。



JR下祇園駅完成イメージ



自由通路エレベーターの整備イメージ

結果

毎月の夜間工事のお知らせのポスティングの開始、夜間工事に伴う通行止め時の安全対策(警備員の配置)など、地域住民を対象にした新駅舎など工事見学会(23年春実施予定)の提案など、種々の安全・安心対策がなされました。その他、祇園学区で取り組んでいる自由通路の有効利用策にも間接的に関わらせていただき、地域の伝統文化の継承に寄与しました。このまま、平穩無事26年度末の整備完了を迎えられるよう、引き続き注視していきます。

課題

地域と主な事業者とのコミュニケーションはまだ満足とはいえません。実際、下祇園駅西側周辺地域には、町内会・自治会がありません。地域に根差した

3 防災・減災

消防団の活性化対策

～2020、21年予算特別委員会質疑～

下祇園駅、そして、皆様に愛される下祇園駅ならびに祇園地区となるよう、より多くのご意見を反映させたものにしていく必要性を感じています。そのために、地域コミュニティの育成・活性化を進めていくことが求められています。

結果

「消防団協力事業所」認定制度の活用を促進させることで、日中の時間帯に消防団員として活動する人員を増やすことになりました。

課題

地道な啓発活動などを通じて呼びかけていくことが求められています。